

店舗レイアウト作成・分析支援システム

床POWER[®]



特徴と概要

2014年6月



直感的な操作で簡単にレイアウト作成

棚POWERで好評な操作性を継承



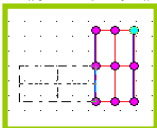
機能ツールにはレイアウトを変更する際の各機能が集約されています。各機能は、例えば一度複写を選択すれば複写モードを維持することで連続して什器の複写ができるなど、棚POWERなどで培った操作性を継承しています。もちろん、アンドゥやリドゥ機能も備え、操作のやり直しもでき安心です。

リストから選択して配置するだけ

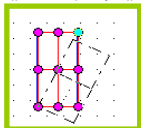
配置リストから、事前に登録したサイズの「什器」、棚POWERや店POWERと連動する「棚割モデル」、売上実績を簡易的に登録できる「簡易モデル」、柱やサッカー台などの「部品」をレイアウト上に自由に配置できます。更に、配置後に機能ツールの《直交回転》や《自由回転》で回転させることもできます。



《直交回転》



《自由回転》



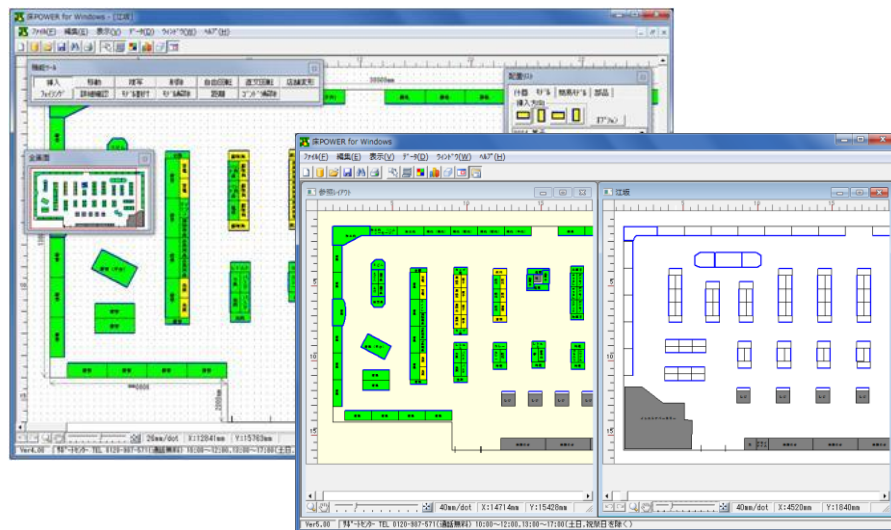
棚割システム連動

棚POWERまたは店POWERと連動する場合は、環境で連動システムを指定します。

ゴンドラNo.の登録が容易

指定したゴンドラからスタートして隣接するゴンドラのNo.をカウントアップしていく《ゴンドラNo自動採番》機能や、複数のゴンドラからゴンドラNo.のみを一括でクリアする《ゴンドラ解除》機能により、ゴンドラNo.の編集が容易に行なえます。

床POWERでゴンドラNo.を管理する事で、店舗の地番管理が可能になります。



柔軟性の高い作業スタイル

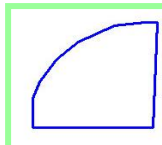
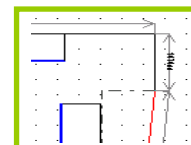
柔軟性に富んだ機能群で、レイアウト編集を多角的にアシストします。「レイアウト参照」機能では他のレイアウトを並べて表示し、作成中のレイアウトへ什器や部品の複写が可能です。「左右反転」機能では、レイアウトの店舗形状や配置ゴンドラを、クリックのみで反転させることができます。また、多くのゴンドラを配置していても、画面上に売場名称やゴンドラNoを表示させ、目的のゴンドラを瞬時に発見できます。

マウス中心の簡単操作を実現

什器やモデルの配置だけでなく、画面の拡大縮小やスクロール、店舗線の変更、多角形什器の作成なども、マウス操作のみで完了します。



《元へ戻す》《先へ進む》《検索》
《スクロール》《画面拡大・縮小》

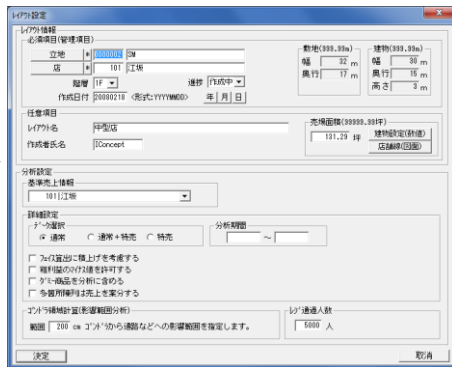


《店舗変形》 《多角形什器》

正確でリアルなレイアウト再現

レイアウト設定による詳細な管理

各レイアウトは、「店」「作成日付」などで個別に保存できます。レイアウト作成状況に応じて「作成中」と「完成」を切り分けて管理できます。棚POWERや店POWERと連動する場合は、これらの売上情報を利用して床POWER上で分析が可能です。床POWER単独で利用する場合でも、簡易モデルのみで分析を行なえます。



レイアウトが大量にある場合は、複数レイアウトを選択して一括で設定を変更する事もできます。

棚割モデルのプレビュー画面を確認



床POWERを、棚POWERや店POWERと連動させている場合、「詳細確認」機能によって床POWER上で棚割モデルのプレビュー画面を確認できます。こういった商品が陳列されているモデルなのか、床POWER上で簡単に確認することができます。

グリッド表示や台吸着による精度の向上

オプション設定でグリッド表示や台吸着を選択でき、 GondラとGondラを自動的に吸着できますので、操作性もさることながら図面としての精度も高められます。また、距離測定機能を使えば各Gondラ間など任意の場所を指定し距離を計測できます。

下絵図面の読み込みで正確な配置を支援



CADソフトで作成したDXFファイルやJPEG等の画像ファイルを下絵図面として取り込むことができます。

これにより実際の図面を基に什器等を配置することができます。図面の縮尺度は、双方の任意の距離(位置)をマウスで指定することで簡単に行なえます。

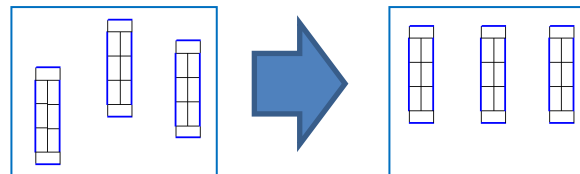
GondラNoの連係による住所管理

店POWERと連動させ、床POWER上で登録したGondラNo.を店POWERへフィードバックさせることができます。GondラNo.を店内住所の地番として管理しておけば、店POWERの陳列情報と組み合わせる事で各商品の正確な住所管理が実現できます。このデータを基幹システムへ連係させ、通路別発注やプライスカードの発行等に役立てる事ができます。

51	52	53	54	55	56	57	58	59
67	68	69	70	71	72	73	74	75

配置済みのGondラの整列

一度レイアウト上に配置した什器やモデルなどは、一括で「左揃え」や「右揃え」などの整列が可能です。複数の什器がまとまった「島」は一つのかたまりとしてまとめるため、島を崩さず、きれいに整列させてレイアウトを整えることができます。



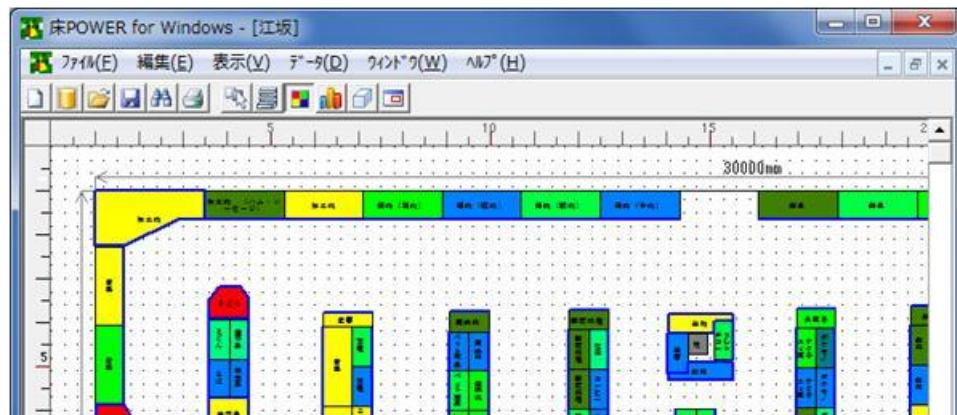
売場生産性を詳細かつ視覚的に把握

分析結果による Gondra 色分け表示

売場、Gondra 別の売上や粗利益を色分けし売場生産性を視覚的に捉えることができます。

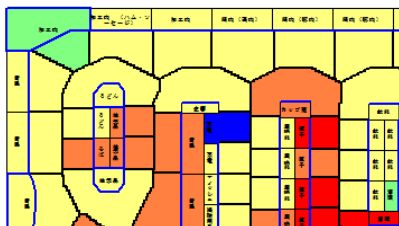
各 Gondra に対しての実績データは、棚POWERや店POWERの棚割モデルや、実績データなどを事前に登録した簡易モデルを配置するか、什器を配置してレイアウトを作成した後に各モデルを什器に割り付けることでシステムに反映できます。

また、「分析値なし」を選択して部門別、売場別の色分けも可能です。



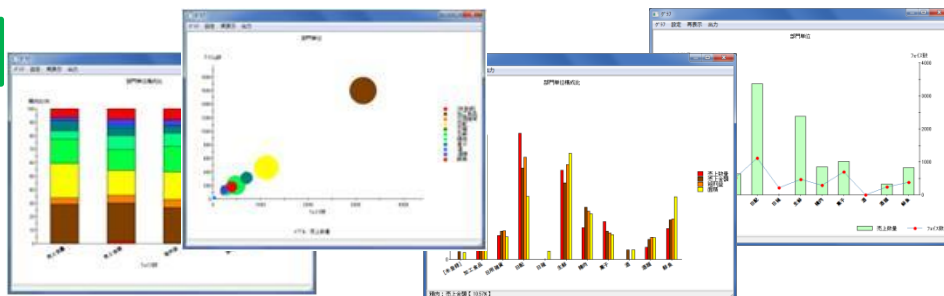
通路も含めたスペース生産性を検証

Gondra 影響範囲を自動算出し部門や売場毎の通路面積も考慮した正確な売場面積を計算します。これによりスペース生産性を検証できます。

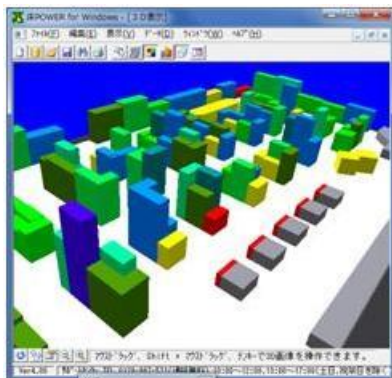


各種グラフ分析により売場を深く探る

グラフを用いて売場を詳細に分析することも可能です。Gondra 本数や面積、売上数量や粗利益を同時に表示して比較することでスペース生産性を検証できます。また、部門から売場、Gondra へとドリルダウンすることにより部門内での売場や売場内での Gondra 毎の比較検証が可能です。



3D表示で視覚的に生産性を把握



フロアレイアウト上の3D表示機能により、売上金額、粗利益などの実績に応じてGondraの高さを変化させることができます。

これにより、直感的に売場の貢献度を把握できます。例えば、店舗の奥に配置された複数のGondraの生産性が低い場合、周辺にマグネット売場を配置するといった対応や、月間奉仕品などを展開した際の定番コーナーの活性化の検証などに有効です。

売上情報の連動

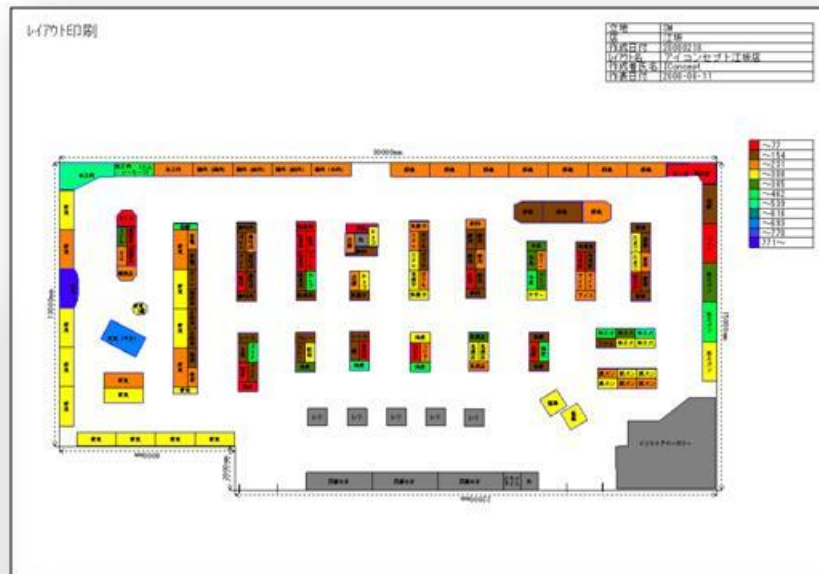
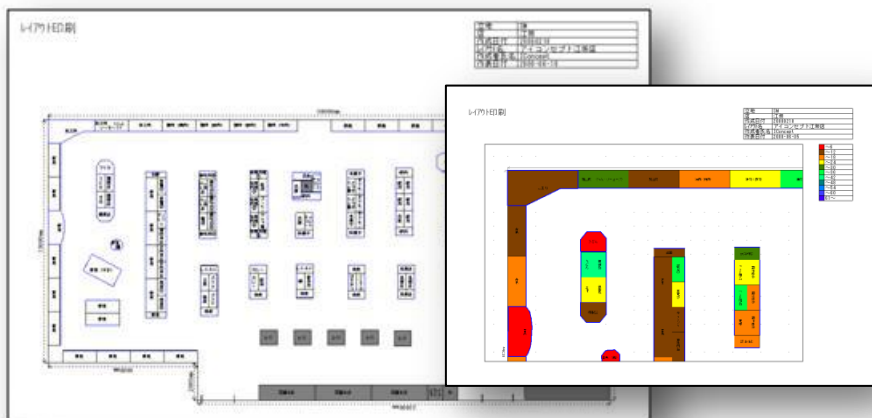
棚POWERや店POWERと連動させている場合、各システム上で売上情報が更新されると、床POWER上でも反映されます。

簡易モデルを使用している場合は、EXCELファイルでの売上の一括更新が可能です。

指示書や管理レポートも充実

レイアウト印刷

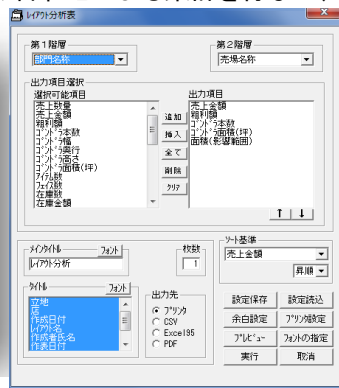
フロアレイアウト図を出力します。出力オプション、タイトルなどを設定し印刷できます。その際には分析結果で色分けしたカラー出力が行なえます。さらにレイアウトの必要な部分のみを印刷範囲として指定することも可能です。プレビューを利用すればクリップボードへのコピーもできます。



レイアウト分析表

ゴンドラを対象に部門やゴンドラサイズ等での組み合わせによる集計を行ない、一覧形式で出力します。

部門名称/売場名称	サイズ	数	坪	坪単価	坪単価
1.加工食品	1	0.12	1.0		
2.肉まん	1	0.12	1.0		
3.アイス	3	0.37	5.0		
4.カップ麺	1	0.12	1.0		
5.カレー	2	0.25	3.0		
6.コーヒー	1	0.12	1.0		
7.スリヤル	1	0.12	1.0		
8.シヤム	1	0.12	1.0		
9.夜店	1	0.12	1.0		
10.文芸	1	0.12	1.0		
11.ジュウタ	2	0.25	3.0		
12.マリソ	1	0.12	1.0		
13.リトル	2	0.25	3.0		
14.靴	1	0.12	1.0		
15.靴	1	0.12	1.0		
16.靴	2	0.50	6.0		
17.靴	3	0.37	5.0		



ゴンドラ一覧

ゴンドラ情報を一覧形式で出力します。印刷だけでなく、EXCELファイル出力も可能ですから、データを有効活用して頂けます。

売場名称	ゴンドラ幅	ゴンドラ奥行	ゴンドラ高さ	ゴンドラ面積(坪)	売上数量	売上金額	粗利
乳製品	300	450	1,800	0.12	285	51,029	
乾物	300	450	1,800	0.12	245	112,039	
紅茶	300	450	1,800	0.12	26	13,022	
理髪品	300	450	1,800	0.12	78	22,010	

未配置一覧

店POWERとの連動時に、該当店舗に割り当てられた棚割モデルのうちレイアウト上に配置されていない棚割モデルを一覧表でチェックすることができます。
新店作成時など、確実に漏れなくレイアウトを作成することができます。